

令和6年度 事業報告

1. 総括

法人の事業基盤である「ぴっころこども園」が幼保連携型認定こども園としてスタートしてから3年が経過し、こども園としての活動評価と認知度も上がってきたと考えます。

一方「ぎんどろ保育園」は開園7年目を迎え、花巻市内の少子化が進む中、小規模保育園運営の課題が見えたことから、新年度はその課題対策に向けて対応策を講じるための検討を実施したいと考えます。

これまでお陰様で地域の皆様・自治体並びに関連する方々に支えられて、法人全体の運営並びに経営も順調であることに対し深く感謝申し上げる次第です。

今年度の活動の中で評価できることは、少子化が進む中で「ぴっころこども園」に於いては、産休・育休取得の保育教諭が複数いる中、代わりの保育教諭を確保出来たことで園児獲得が比較的順調であったことにより、収支面でも予算を達成できたことは今後の経営にも繋がる成果であったと考えます。

また、今年で8年目を迎えた「花南わんぱく学童クラブ」は、新1年生が30名入所する等、着実に入所児童数が増え、退所児童が多いにも関わらず収容児童数が90名の大台に乗り、待機児童数対策で地域に貢献することが出来たとともに、収支面でも予算達成ができたことは評価できると考えます。

しかしながら、小規模の「ぎんどろ保育園」に於いては、少子化の影響も大きく響き園児獲得が予算通りとはならず、収支面でも予算未達となり次年度以降に課題を残す結果となりました。

尚、今年度は新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行して2年目でもあり、マスクの着用は任意となったものの日々の運用はまだまだコロナ禍前の状態に戻るまでには時間を要しそうな状況にあります。今後も感染防止対策に万全を期しながら全職員が一丸となって安心安全な運営に取り組んで参りたいと考えます。当法人の基本方針に掲げた7つの方針が、一步一步ではあるが着実に実践できていると共に、今年度も3施設を併せて収益面を含め経営全般で、何とか当初の目的を果たすことが出来ました。これも一重に職員一同の努力と関係各位のご尽力の賜物であると感謝申し上げます。

次年度も、3施設ともに大きなイベントや取り組みの予定がないことから、安心安全な運用に向けた取り組みは基より、ますます少子化は進む中、法人のさらなる飛躍に向けて実施案の検討と立案をする年とし、より一層地域に貢献できる様に取り組んで参ります。

<理念>

利用者の皆様、地域の皆様とともに

- 一 地域に根差した活動で信頼・愛される
- 一 夢と希望を語り合える開かれた
- 一 仕事に誇りと生き甲斐を持ち成長し続ける社会福祉法人を目指します

<基本方針>

- 1) 経営の基盤づくりと安定を図り、継続的な事業の維持向上に努める
- 2) 利用者とその家族に寄り添い、質の高い福祉サービス提供と支援を行う
- 3) 関係機関と連携を密にして地域福祉の推進と向上に努める
- 4) 職員が働きやすい職場と風土の醸成とともに個々の能力が発揮できる人材を育成する
- 5) 開かれた法人として情報開示、情報提供を通じて透明性に努める
- 6) さらなる地域貢献に向け、新たな事業計画を策定し推進する

2. 法人の概要

- (1) 法人名 社会福祉法人ちひろ会
- (2) 所在地 岩手県花巻市諏訪町二丁目4番地7
 電話番号 0198-29-5722 F A X 0198-29-5744
 メールアドレス pikkorohoikuen@j-chihirokai.or.jp
 ホームページアドレス <http://www.j-chihirokai.or.jp/>
- (3) 認可年月日 平成23年6月29日(岩手県指令地福第266号)
- (4) 設立登記年月日 平成23年7月1日
- (5) 法人が行う事業 第二種社会福祉事業
- ・ 幼保連携型認定こども園の経営
 - ・ 一時預かり事業
 - ・ 放課後児童健全育成事業(学童クラブ)
 - ・ 小規模保育事業
- (6) 施設名称 ぴっころこども園 利用定員 75名(令和4年4月1日事業開始)
 花南わんぱく学童クラブ 利用定員 75名(平成29年4月1日事業開始)
 ぎんどうろ保育園 利用定員 12名(平成30年5月1日事業開始)

3. 役員の状況

役職名	氏名	役員の資格(該当する欄に○)					現任期 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日	備考
		学識 経験者	地域 福祉 関係者	施設長 等	その他	財務		
理事長	藤原 勝		○				令和5年6月21日 令和7年度定時 評議員会開催日	
理事	岩崎 安男		○				令和5年6月21日 令和7年度定時 評議員会開催日	
理事	小瀬川ちはる			○			令和5年6月21日 令和7年度定時 評議員会開催日	
理事	佐藤 敦士	○					令和6年6月20日 令和7年度定時 評議員会開催日	
理事	佐藤 正昭	○					令和5年6月21日 令和7年度定時 評議員会開催日	
理事	三井 信義		○				令和5年6月21日 令和7年度定時 評議員会開催日	
監事	小原 康裕					○	令和5年6月21日 令和7年度定時 評議員会開催日	
監事	佐藤 洋子					○	令和5年6月21日 令和7年度定時 評議員会開催日	

定款上の定数 理事6名 監事2名

4. 理事会及び評議員会の開催状況

開催年月日	出席者 /総数	議 題	欠席者氏名
第1回理事会 (決算理事会) R6.6.5	5/6	<報告・承認事項> 1. 令和6年度の事業実施状況について 2. 令和5年度勤勉手当及び処遇改善手当の支給執行状況について <決議事項> 1. 令和5年度決算報告及び事業報告について 2. 令和6年度1次補正予算(案)について 3. 川村理事辞職に伴う後任候補について 4. 定款の改正(案)について 5. 評議員会開催日程(案)と議案(案)について	川村 妙子
定時評議員会 R6.6.20	6/7	<報告事項> 1. 令和5年度決算に係る内部監査結果について 2. 令和5年度事業報告について 3. 令和6年度の事業計画並びに予算について 4. 令和6年度の事業実施状況報告について <決議事項> 1. 令和5年度決算報告について 2. 川村理事辞職に伴う後任理事候補について 3. 定款の改正(案)について	渡辺 征彦
第2回理事会 R6.10.3	5/6	<報告事項> 1. 令和6年度の事業実施状況について <決議事項> 1. 令和6年度第2次補正予算(案)について	岩崎 安男
第3回理事会 R7.3.18	6/6	<報告・承認事項> 1. 令和6年度の事業実施状況について <決議事項> 1. 令和6年度第3次補正予算(案)について 2. 令和7年度事業計画(案)について 4. 令和7年度予算(案)について	

5. ぴっころこども園の運営活動状況

<保育理念>

「一人ひとりが輝く」

<保育理念の要旨>

- 1) 子どもの尊厳を守り自主性を伸ばす場を提供する
 - ア 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を目標とし、その基礎となる乳幼児期の特性に合わせた保育内容及び環境を設定し実践する。
 - イ 人権を尊重した保育を重んじ、一人ひとりの発達や特性を踏まえた支援を行う。
- 2) 保護者との連携を密にし、子どもの育成にあたる
 - ア 日常の保育に関連した様々な機会を活用し、子どもの日々の様子や家庭状況を伝達しあい、信頼関係を深めたうえで子どもの最善の利益を考慮した保護者への働き掛けを行う。

イ 保育所保育の意図を説明する機会をもち、保護者と保育についての相互理解を図りながら、保護者の子育てを自ら実践する力の向上を支援する。

3) 地域との連携を密にし、子どもの育成にあたる

ア 地域のニーズを把握し関係機関と連携を取りながら子育て支援に努める。

イ 建物内事業所との交流を持ち、世代交流や社会性を学ぶ場を提供していく。

4) 保育の仕事に誇りを持ち保育技術の向上に日々努める

ア 職員一人ひとりの倫理観、人間性、保育職員としての自覚と責任の理解をもって職務にあたるよう、年3回の人事考課、年2回の自己評価を行い資質の向上を図る。

イ 職員教育体制、園内外の研修により保育技術を身に付け実践できるよう園全体で具体化し取り組む。

<今年度の取組目標>

1) 職員育成

ア、職員体制図に沿った「報連相」の徹底により、職員間の連携を組織化し保育・保護者支援体制の確立・強化を図る。

イ、子どもと共に遊びの意義を理解し、展開を広げる環境に向けた教育計画への充実を図る。

ウ、連携施設との研修を踏まえ、相互に気づき振り返りによる教育技術の充実を図る。

2) 教育内容の充実

教育・保育の月齢に合わせた計画策定を行う。

3) 園舎修繕

保育室の壁紙張替えや園庭の土地改良等、園舎の修繕費の資金確立のため園児確保・保育士確保の充実に向けた広報活動等の取り組みを図る。

<主な取り組みと成果>

1) 職員育成

・保育業務の効率化を図るため職員体制図による「報連相」の確立では、2年目となり少しずつではあるが浸透しつつある。

・ソフト面の主幹を中心としたコミュニケーションと協同に関しては十分な機能がなされなかった。理由としては、代用業務に追われたことで満足のいくコミュニケーションまで至らなかったことが挙げられる。

・ハード面の業務体制協力については、玄関当番を工夫したことでそれぞれが事務処理や製作準備に時間を費やすことができた。

2) 園舎修繕

長年の課題であった、各保育室内の壁紙の張替えを実施した。

(1) 入所定員・入所現員

1号認定

年 齢		3歳児	4歳児	5歳児	合 計
定 員		5人	5人	5人	15人
現員 (R6.4.1)	計	1人	2人	2人	5人
現員 (R7.3.31)	計	1人	2人	2人	5人

2号・3号認定

年 齢	受入種別	0歳児	1~2歳児	3歳児	4~5歳児	合 計
定 員		10人	20人	10人	20人	60人
現員 (R6.4.1)	標準	2人	22人	13人	23人	60人
	短時	2人	1人	1人	2人	6人
	計	4人	23人	14人	25人	66人
現員 (R7.3.31)	標準	6人	19人	13人	23人	61人
	短時	2人	3人	1人	2人	8人
	計	8人	22人	14人	25人	69人

(2) 延長保育の実績

月	受入日数	延べ人数
4	25日	72人
5	24日	95人
6	25日	84人
7	26日	131人
8	26日	85人
9	23日	112人

月	受入日数	延べ人数
10	26日	85人
11	24日	128人
12	24日	118人
1	23日	91人
2	22日	86人
3	25日	104人

計 1,191人

前年実績 1,341人

前年度比較 △150人

(3) 一時預かり保育の実績

月	受入日数	延べ人数
4	0日	0人
5	9日	10人
6	5日	5人

月	受入日数	延べ人数
10	9日	9人
11	13日	13人
12	6日	6人

7	15日	21人		1	4日	4人
8	8日	9人		2	3日	3人
9	8日	8人		3	5日	5人

計 93人
 前年実績 23人
 前年度比較 70人

(4) 職員の状況 (4月1日時点)

職 種	施設長 ・園長	副園長	主幹 保育教諭	副主幹 保育教諭	常勤 保育教諭	講 師	常勤 看護師
人 数	1	1	2	2	4	3	1
職 種	副主幹 栄養教諭	調理員	参与	事務長			
人 数	1	2	1	1			
						合 計	19名

(5) 地域との連携・交流状況

実施年月	実 施 内 容	備 考
令和6年 9月	運動会	雨天中止 (運動会ごっこを開催)
令和6年 9月	諏訪神社お祭りに参加 (神輿)	
令和6年10月	諏訪地区文化祭に出品	
令和6年11月	花南文化祭 (出品と4, 5歳児の出し物)	
令和6年12月	生活発表会 (文化会館)	

(6) 苦情内容および解決結果状況

発生・解決日	内 容
該当なし	

6. 花南わんぱく学童クラブの運営活動状況

<支援の理念>

「一人ひとりが輝く」

- 1) 子供の尊厳を守り、自主性を伸ばす場を提供する
- 2) 保護者と地域の連携を密にし、子供の育成にあたる
- 3) 学校、地域との連携を密にし、子供の育成にあたる

<今年度の取組目標>

- 1) 運用開始5年間の経験を基により精度の高い運用と経営基盤の確立を目指す
- 2) 2クラス制の運用確立と安心・安全な運用を心がけ日々の運用を推進する
- 3) 保護者と地域及び学校との連携を密に、児童に関する情報等を共有し相互に支援を行う
- 4) 支援員のスキルアップを図るため、セミナー等の受講を推進し、自己研鑽に努める
- 5) 学童施設の活用方法について検討し、より有益な活用を実践する
- 6) 支援目標
 - ① 自主性を育む
 - ② 思いやりを育む
 - ③ 挨拶をきちんと出来る様にする

<主な取組と成果>

- 1) 開所8年目、2クラス制としてスタートし5年目を迎え、1年生から6年生まで在籍しています。
- 2) 今年度も、子どもたちの役割として「花グループ」「畑グループ」「歌グループ」の3つのグループで、子どもたちが自主的にグループ活動を行うことが出来ました。
 - ・花グループ : 花の植え込み、生育観察、当番制による水やり、花南振興センター花壇の植栽
 - ・畑グループ : 畑の作物の作付け、生育観察、収穫
 - ・歌グループ : イベント毎のテーマ曲の選定と率先して歌唱
- 3) 当学童クラブの特色である日々のおやつ(土曜日は除く)は、隣接するこども園の厨房で作ったものを提供し、更に長期休み期間には給食を提供することで、保護者から高い評価をいただいています。
- 4) 長期休み期間中は恒例となった行事として、①ボランティアの方々による読み聞かせ ②お茶を楽しむ会 ③学童祭りの開催 ④スイカ割大会 ⑤水性生物の観察会など盛り沢山のイベントを実施できました。

今年も、岩手大学との連携で理科教室を開催し、助手役の岩手大学の学生も参加して子供たちは理科の楽しさについて新たに興味を持つことが出来ました。

また、子どもたちが一番楽しみにしている「ラ・フランス温泉でのプール遊びにバイキング」は保護者会の協力のもとで実施し、保護者も一緒に食事をしました。

なお、花南コミュニティセンター主催の「3世代交流」等地域交流会にも積極的に参加しました。
- 5) 児童一人ひとりの保育についてその子に合った支援を行うために、小学校の担任の先生方との面談による情報共有や保護者との面談も継続して進めて参りました。今後も引き続きフォローして参ります。
- 6) 今年度も6年目となる食育の一環として野菜の栽培に挑戦しました。畑は地元の農家の方からお借りし、ボランティアとして自然農法(無農薬、化学肥料不使用)に精通した方による指導を受けながら、じゃが芋、さつま芋、枝豆、カボチャ(ハロウィン用)そして大根を栽培しました。

生育状況は、ホームページで随時公開し、成果として収穫したじゃが芋、さつま芋の一部は保護者に配りました。

今年も収穫したさつま芋は石焼き芋にして食べました。焼き芋は迎えに来た保護者

にもお裾分けし、皆で甘くておいしいお芋を堪能しました。今年は、猛暑のせいもあり？さつま芋が大きく実ったことから、こども園の園児にも給食のおやつ等で振る舞うことが出来ました。来年も焼き芋が食べられるようにさつま芋を栽培したいと思います。

また、10月にはわんぱく畑で採れたじゃが芋を使った地産地消の料理講習を4年生以上が保健センターで実習してきました。

(1) 入所定員 (75名)・入所現員 (4月1日時点)

種 別	1年生		2年生以上		合 計
	男	女	男	女	
通 所	18人	12人	36人	24人	90人
合 計	18人	12人	36人	24人	90人

(2) 延長保育の実績

月	利用日数	実人数
4	21日	37人
5	21日	26人
6	20日	26人
7	22日	22人
8	17日	25人
9	19日	24人

月	利用日数	実人数
10	20日	24人
11	20日	26人
12	20日	23人
1	19日	18人
2	18日	25人
3	22日	21人

前年度利用人数計 382人
 今年度利用人数計 297人
 前年度差 △85人

(3) 職員の状況 (4月1日時点)

職 種	施設長	所 長	主 任 支援員	支援員	支援員補助	事務員
人 数	1	1	1	4	6	1
					合 計	14名

(4) 地域との連携・交流状況

実施年月	実 施 内 容	備 考
令和6年6月	花南振興センター花壇の植栽	
令和6年8月	花南地区コミュニティ (三世代交流)	
令和6年10月	諏訪地区文化祭作品出展	
令和7年1月	みずき団子、かるた交流	地域の皆様方3名

(5) 苦情内容および解決結果状況

発生・解決日	内 容
該当なし	

7. ぎんどろ保育園の運営活動状況

<保育理念>

「一人ひとりが輝く」

<保育理念の要旨>

1) 子どもの尊厳を守り自主性を伸ばす場を提供する

ア 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を目標とし、その基礎となる乳幼児期の特性に合わせた保育内容及び環境を設定し実践する。

イ 人権を尊重した保育を重んじ、一人ひとりの発達や特性を踏まえた支援を行う。

2) 保護者との連携を密にし、子どもの育成にあたる

ア 日常の保育に関連した様々な機会を活用し、子どもの日々の様子や家庭状況を伝達しあい、信頼関係を深めたうえで子どもの最善の利益を考慮した保護者への働き掛けを行う。

イ 保育所保育の意図を説明する機会をもち、保護者と保育についての相互理解を図りながら、保護者の子育てを自ら実践する力の向上を支援する。

3) 地域との連携を密にし、子どもの育成にあたる

ア 地域のニーズを把握し、関係機関と連携を取りながら子育て支援に努める。

イ 建物内事業所との交流を持ち、世代交流や社会性を学ぶ場を提供していく。

4) 保育の仕事に誇りを持ち保育技術の向上に日々努める

ア 職員一人ひとりの倫理観、人間性、保育職員としての自覚と責任の理解をもって職務にあたるよう、年3回の人事考課、年2回の自己評価を行い資質の向上を図る。

イ 職員教育体制、園内外の研修により保育技術を身に付け実践できるよう園全体で具体化し取り組む。

<主な取り組みと成果と課題>

1) 子どもの遊びを発展させる計画と環境の見直し

ア、保育教育内容についての計画立案や振り返り方法を見直し、書類や業務負担は軽減しながらも今まで以上に子どもが夢中で遊びこめる活動が展開されるよう職場全体で対話を通し協議していく

イ、劣化が見られる園内設備の改修を行い、子どもが心地よく安全に過ごせる空間作りを行う

・会議だけではなく、普段の会話からもその日の子どもの姿を職員間で話し個別対応や遊びを取り入れたことで子どもたちの「またやりたい」「もっとやりたい」という気持ちを引き出すことで育ちに繋がったと感じる。

また、クラスごとに人数や特性に差があることから時間数は限られるクラスもあつ

たが、職員同士が積極的に配置を話し合い事務時間を作ることで昨年度より残業時間の軽減に繋がった。

・劣化による破損があった検収室の天井、ホールのエアコンを入れ替えた。また、各保育室のエアコン清掃を行ったことで暑い夏でも子どもたちが快適に過ごせる環境を保つことができた。

給食室のスチームコンベクションは、以前より経年劣化にて破損していたものを工夫しながら使用していたが、ぴっころこども園が買い替えを行ったため今までぴっころこども園で使用していた物を譲り受け、子どもたちへ給食提供を行っている。

各保育室の床、園庭フェンス、園庭遊具の撤去など子どもたちがより快適に過ごせる環境整備のため修繕や改修の見積もりは行ったが実施には至っていない。

2) 子どもまんなか社会への理解と支援

ア、園、保護者が互いの保育観について語り合い信頼関係を深めながら協同する場や企画の提供を行う

イ、子ども基本法、子ども大綱、子どもの権利条約などについて職員、保護者がともに学び合い認識を深める

ウ、子ども誰でも通園制度を導入することで地域の未就園児に対する保育教育の提供と保護者支援に貢献する。また、地域の子育てに役立つよう保育教育についての情報を幅広く届けられる方法を検討していく。

・食育の日にゲームを取り入れたり、親子レクで親子製作を行うなど保育の理解に繋がる企画を実施した。また、登降園の際、普段から子どもの様子を細やかに伝えたり保護者から聞き取りを行うように努めてきたことでほとんどの保護者より園の保育に満足していると回答が得られたことにより、保育について話し合うことができていると感じる。

・子ども大綱や子ども基本法について職員間で学ぶ機会を設けた。各法令を読み込み、その内容を職員会議で自分なりの言葉と表現で認識も深めたが、保護者への働きかけまでには至らなかったため、保護者へ保育説明時の根拠として提示できるよう学びを継続していく。

・子ども誰でも通園制度は令和8年度より施行されるため、令和7年度に内容を検討していく。

(1) 入所定員・入所現員

年 齢	受入	0 歳児	1 歳児	2 歳児	合 計
定 員	種別	3 人	5 人	4 人	12 人
現員 (R 6.4.1)	標準	0 人	2 人	3 人	5 人
	短時	1 人	1 人	0 人	2 人
	計	1 人	3 人	3 人	7 人
現員 (R 7.3.3 1)	標準	3 人	4 人	3 人	10 人
	短時	0 人	2 人	0 人	2 人
	計	3 人	6 人	3 人	12 人

(2) 延長保育の実績

月	受入 日数	延べ人数
4	25日	1人
5	24日	2人
6	25日	0人
7	26日	0人
8	26日	0人
9	23日	0人

月	受入 日数	延べ人数
10	26日	0人
11	24日	1人
12	24日	0人
1	23日	0人
2	22日	1人
3	25日	4人

計 9人
前年実績 33人
前年度比較 △24人

(3) 職員の状況（4月1日時点）

職 種	園 長	副主任 保育士	常勤 保育士	調理員	非常勤補 助・調理員			
人 数	1	2	3	1	1			
							合計	8名

(4) 地域との連携・交流状況

実施年月	実 施 内 容	備 考
令和6年5月、10月	花巻市福祉総合センター全体避難訓練	社会福祉協議会各事業所
令和6年 8月	若葉小学校見学	若葉地区各園年長児
令和6年 9月	お神輿披露	社会福祉協議会各事業所
令和6年 10月	学習発表会参観	若葉小学校1学年
令和6年 10月	ハロウィンパーティ	社会福祉協議会各事業所
令和7年 2月	豆まき	社会福祉協議会総務課、会長室

(5) 苦情内容および解決結果状況

発生・解決日	内 容
該当なし	